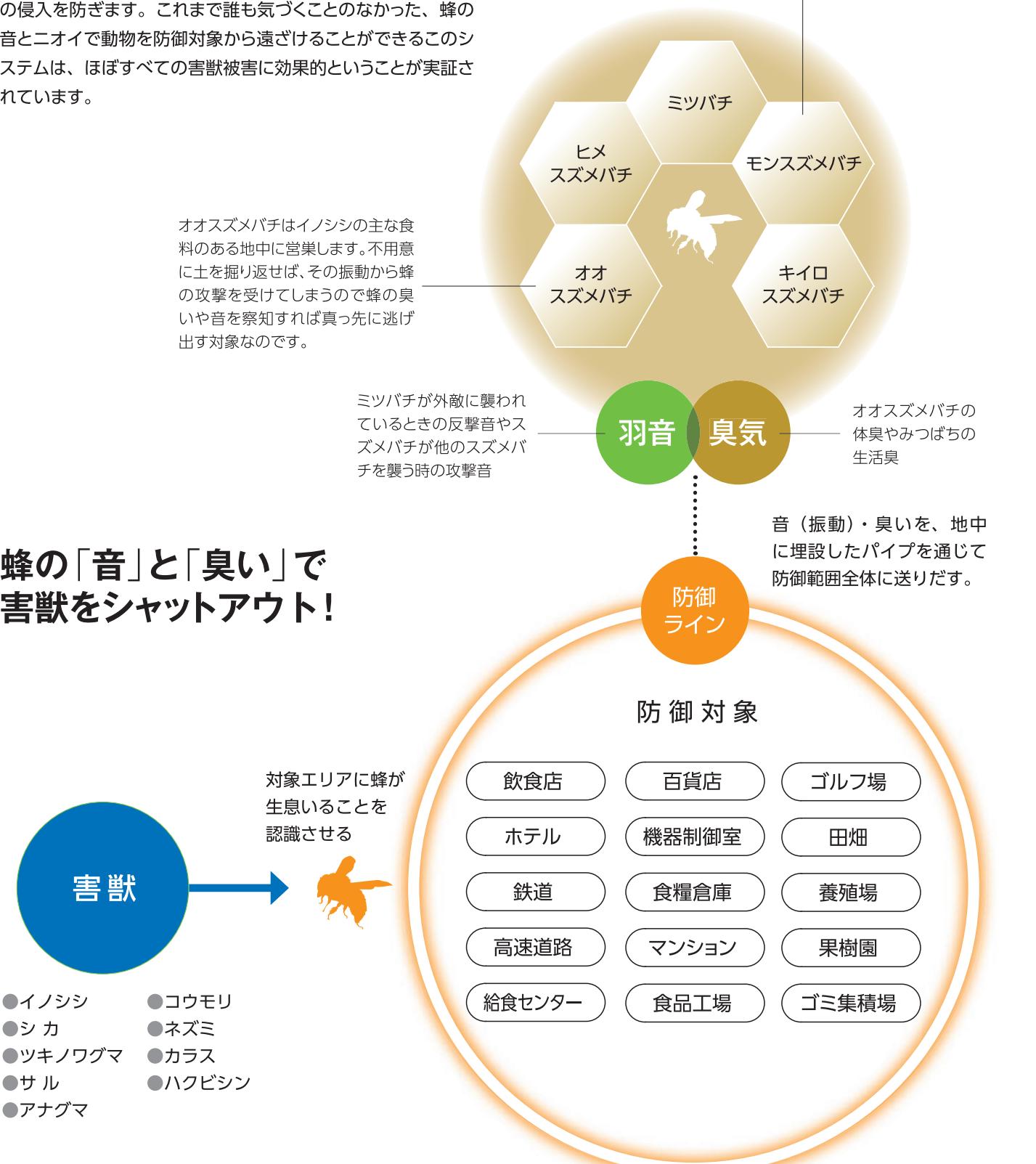


「刺されると痛い!」害獣にとって、蜂はもっとも苦手な天敵

野生动物たちは、「蜂は刺す」「刺されると痛い」ことをよく知っています。国内に生息する最大の野生動物であるツキノワグマは、ハチミツ欲しさでミツバチの巣を襲うことがあります、そのクマさえ、スズメバチには怖くて近づきません。境界守は、野生动物たちが蜂だと認識する「蜂の体臭」と「飛び交う羽音」を地下に埋設したパイプを通じて防御範囲全体に送りだすこと、野生动物を防御対象の施設や田畠から遠ざけ、その侵入を防ぎます。これまで誰も気づくことのなかった、蜂の音とニオイで動物を防御対象から遠ざけることができるこのシステムは、ほぼすべての害獣被害に効果的ということが実証されています。

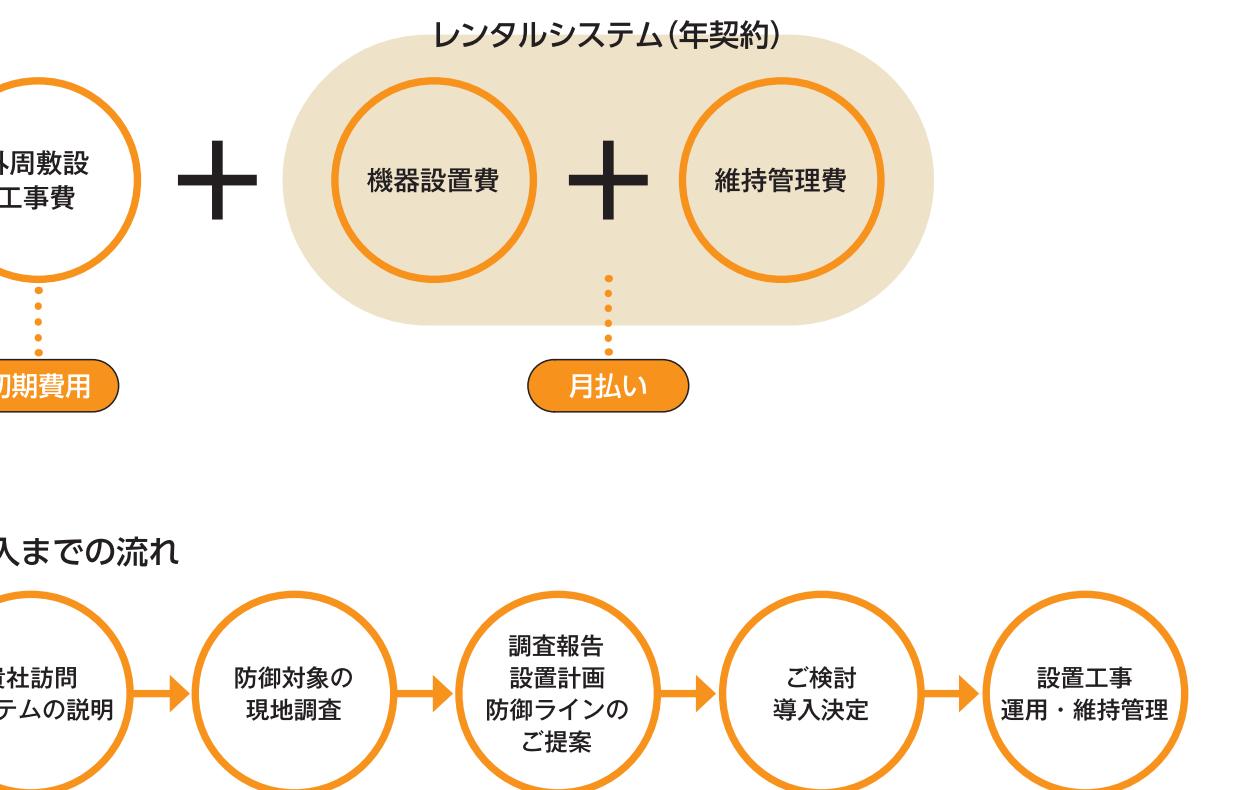


蜂の「音」と「臭い」で害獣をシャットアウト!

レンタルシステムで、計画的な導入をサポートします

境界守システムは、初期工事費（外周に敷設される埋設管等）を除き、主要な機器（コントロール BOX 等）そのものの使用料および維持管理費は、月払いのレンタルシステム（年契約）で提供しております。これにより初期負担が低減でき、計画的な導入が可能になります。

本システムは、事前の綿密な現地調査で害獣の生態環境や防御対象の土地・建物の形状などを確認して、導入計画をご提案いたします。また、設備の設置後も、年契約のレンタルシステムにより責任を持ってシステムの維持管理とメンテナンスを行っていきますので、ご安心して導入いただけます。



※防護を必要とする面積やその形状および対象動物によって、設置方法や費用は異なります。
まずは、お気軽にご相談ください。

境界守本舗／株式会社 はなはな

〒720-2418 広島県福山市加茂町中野222-1
TEL 0120-49-0616

ツキノワグマからネズミまで
蜂のチカラで害獣をシャットアウト



大切な施設や農作物を守る
害獣侵入忌避システム

境界守

「境界守」は株式会社はなはなの登録商標です。

“エース”が登場



繰り返される害獣たちとの闘いに決着!
被害対策の

境界守本舗／株式会社はなはな

害獣被害対策の様々な課題を一気に解決

これまでの対策は、防御対象の動物が多様化していることや、

動物の学習能力などによっていずれも根本的な解決に至らず、まさに「イタチごっこ」が続いている。

「境界守」は、従来の害獣被害対策のさまざま課題を一気に解決する、

画期的なシステムとして注目されています。



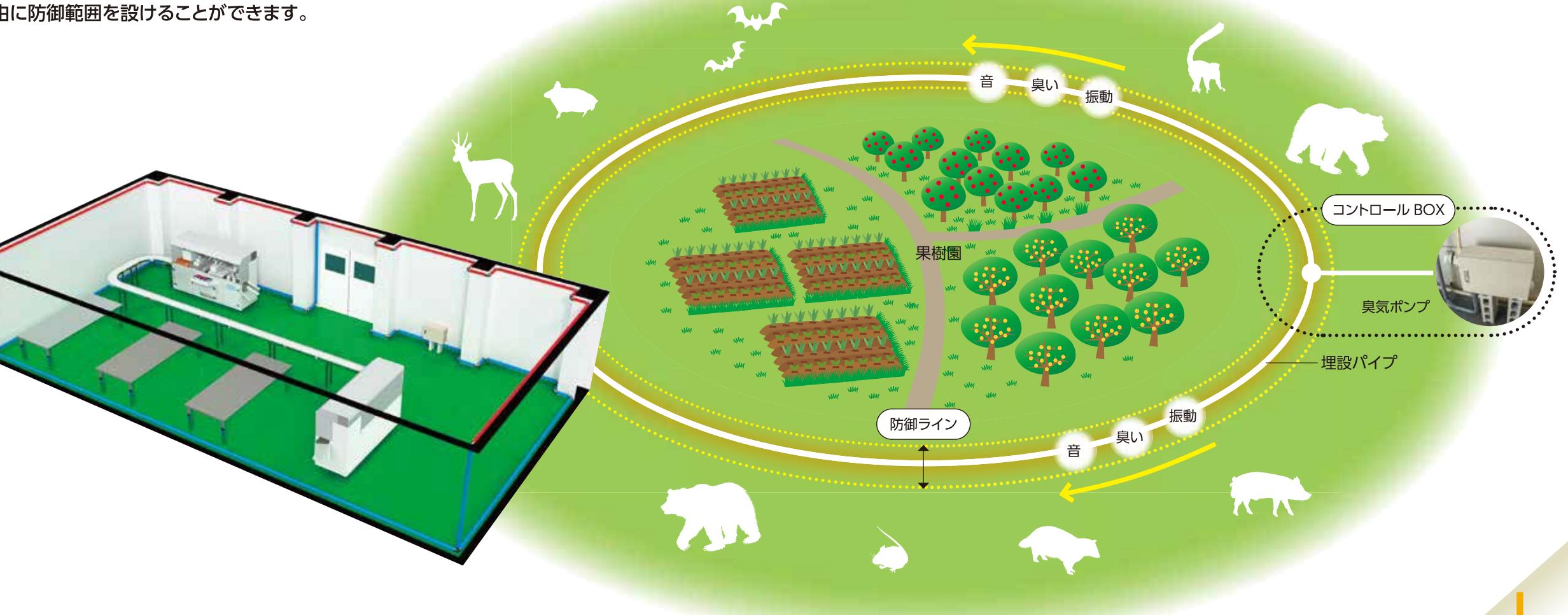
景観を損なうことなく、 防御範囲を自由に設定

境界守システムは、地中に埋設することもできるため、

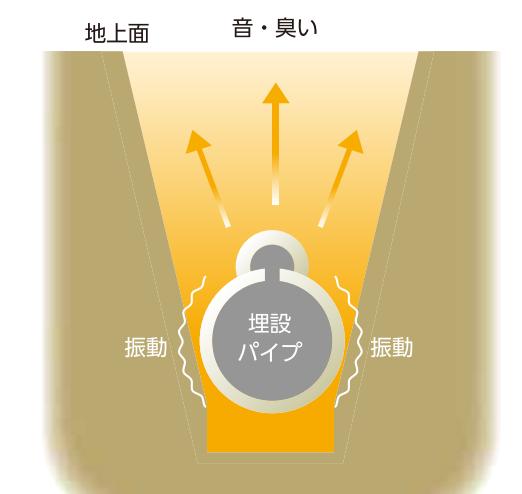
景観の悪化や露出部を気にすることなく

自由に防御範囲を設けることができます。

地上



地下



埋設パイプの吹き出し口から
地上へ音と臭気を拡散

地下に埋設したパイプには、
一定の間隔で吹き出し口を空けてあり、
吹き出し口上部には防水対策と
臭気拡散を兼ねたカバーを設けています。

